

新たな歴史 さつまを創る 文化祭

生涯学習推進大会・町文化祭開催

11月6日・7日の両日、B & G海洋センターアリーナで文化祭の展示発表、7日は町改善センターで生涯学習推進大会並びに文化祭の芸能発表があり、多くの参加者で賑わいました。

文化祭の展示発表では書画や盆栽、フラワーアレンジメントなど各種教室や学校、個人が制作した多くの作品が並べられました。また会場の奥には学校給食を紹介したコーナーも設けられ、他町の給食の献立や材料の説明に来場者も興味深そうに見入っていました。

生涯学習大会では、「鹿児島言葉おもしろ講座～鹿児島言葉と薩摩狂句」と題した、薩摩狂句のテレビ番組などで活躍中の、タレント瀬川洋一郎さんの講演がありました。

瀬川さんは「今の若い方は、なかなか純粋な鹿児島言葉を使わなくなっていると思いますが、だんだん年をとってくると使うようになってきます。鹿児島言葉は800年の歴史があり、語り継がれた言葉はなかなか変わりません。これが言葉の伝承です。」と話されました。また鹿児島言葉の特徴をいくつか挙げられ「敬語や丁寧語が非常に発達しています。『ありがとう』という意味の言葉も『これは』『これはなあ』...『これはどうもおありがとう申し上げ申した』まで相手によって何通りも使い分けます。」といくつもの言葉を使う点では、たいへん難しい言葉であることを説明されました。

会場は、瀬川さんの使う懐かしい言葉や紹介される薩摩狂句にいちいちうなずいたり、笑ったりしてとても盛り上がっていました。

〔本大会の表彰者紹介〕（敬称及び花いっぱい運動の銀賞・銅賞、学校教育伝達分は省略）

社会教育表彰

吉國 健一郎
永野校区子ども会育成会
弓之尾子ども会

花いっぱい運動 金賞

上村集落・中津川小学校（団体・学校）
下原 節子（個人）

町花コスモスコンクール

求名中央老人クラブ

▶会場内に用意されたお茶の体験コーナーを楽しむ中学生



▶鹿児島言葉について講演される瀬川洋一郎さん



▶出演者全員による「おはら節」の総踊り



▶学校給食の紹介コーナー

